

先進医療Bから取り下げに……

水素ガス吸入療法

今年2022年3月に、画期的な治療法として国から先進医療Bに認可されていた「水素ガス吸入療法」が取り下げとなりました。この水素ガス吸入療法は、心肺停止症候群（病院の外で心停止になった患者に対する救急蘇生術後の脳や臓器に後遺症が残った状態のこと）に対して大幅な後遺症の軽減に繋がるとして慶應義塾大学病院や協力医療機関で臨床試験が行われていました。

しかし、2020年～コロナの流行と共に、診療の最前線に立つ救急医療は逼迫状態が続き、そのような中で症例の組み入れを行うことは実務的・倫理的に困難となったこと、面会の制限から同意書も取れないこと、救急蘇生の治療上の変化などの理由から、予定症例数360例に対して73例ではありましたが、研究実施計画書に定められた中止基準に従い「研究対象患者の組み入れが困難で、予定症例数に達することが困難であると判断」され、中止が承認されました。

ただ、今回先進医療Bからの取り下げにより、国の診療報酬に組み込まれる可能性が減少してしまいましたが、他の医療機関や日本先進医療臨床研究会などでも水素導入の臨床試験が実施されています。また、一般の医療機関でも自由診療として水素吸入を取り入れているクリニックが増えてきています。今後、基礎研究の進展やエビデンスが増えたその先に、この画期的な効果があるとされる水素吸入が一般治療として認可される日が来ることを待ち望みたいと思います。

参考資料：厚生労働省『先進医療Bの試験終了に伴う取下げについて』R4/5/12発行



～健康ライフ～

集水ボトルの中の水はこまめに捨てましょう



夏は気温や湿度の高さの影響により、集水ボトルに水が貯まりやすくなります。6時間ほどであふれる場合も！こまめに確認し、排水をお願いいたします。

コロナ渦中における

熱中症対策

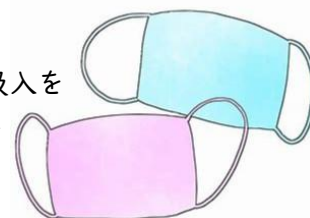
コロナ渦が続く中、暑い夏に突入したことでマスク熱中症の問題がでてきています。

熱中症とは……体の中に熱がこもり体温が上昇することで、体温調節機能が正常に働かなくなり、体内の水分・塩分量のバランスが崩れます。また、それが原因となり、意識が朦朧とし命の危険にもさらされます。

メカニズム……水分不足に陥ると血流が不足するため、体内の熱を血流に乗せて全身の毛細血管に運び、放熱、冷却させる機能が低下してしまいます。さらに、マスク着用により、マスク内の湿度が上がることから、喉の渇きに気づきにくくなり、水分摂取を怠りがちになります。また、顔は発汗量が多い部分であるため、マスクで顔を塞ぐと放熱が妨げられてしまいます。

対策……①水分補給、②塩分補給、③冷房や日傘、帽子等を活用し体温の上昇を防ぐ、④顔以外の肌の露出を増やす、⑤お年寄りや口渇感も感じづらいため、意識的に水分を摂取する上記のような対策方法で、自分の身体を意識的に守っていきましょう。

他にも、熱中症対策として、水素水による水分補給がおすすめです。浸透性が高いので、全身に素早く水分が行きわたります。また、水素吸入をすることで、気温上昇により引き起こされる全身の酸化ストレスや炎症反応を抑制できることが大学病院の研究から明らかになっています。



MINTECH

株式会社ミンテンテック

〒136-0071

東京都江東区亀戸1-38-6-1501

TEL 03-6802-9160

FAX 03-6802-9226

E-mail: info@mintech.ne.jp

https://www.mintech.ne.jp/

厳しい暑さの頃ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今年の夏は猛暑の記録を更新する中、コロナ感染者の数まで拡大が続いており、より一層の心身をケアが求められるようになっていきます。水素が持つ効力は、心身を健全な状態にサポートしてくれるものです。ぜひその水素を活用していただき、この夏を皆さまが元気に過ごしていただくためのお供として活用いただければ幸いです。

編集後記



MINTECH